



平成23年度

豊島区 環境年次報告書



平成24年11月 豊島区

区長メッセージ

東日本大震災と原発事故——未曾有の大災害は、私たちを取り巻く環境に大きな影響を与えています。

深刻な電力不足など、これまで経験したことのない危機に直面し、社会経済活動はもちろんのこと、生活のあり方についても見直しを迫られました。

原子力発電や自然エネルギーなど、エネルギー問題について、大きな関心が寄せられていますが、私たちは、去年の経験を忘れることなく、エネルギー消費や一人ひとりの暮らしを見つめ直す機会ととらえ、持続可能な地域社会を築いていかなければなりません。

豊島区では、震災の影響による節電対策に積極的に取り組んできた活動を基に、本年8月、区役所本庁舎を対象として、環境省が策定した環境経営システム「エコアクション21」の認証を取得しました。これにより、環境活動に取り組む区の姿勢を明確に表明いたしました。今後とも、環境負荷を減らす取り組みを推進するとともに、対象施設の拡大を図ってまいります。

今年豊島区は、区制施行80周年を迎えました。改めて、豊島区環境基本条例の原点に立ち、知恵と工夫によって、環境に配慮された活力溢れる持続可能な都市の創造に向け、決意を新たにいたしました。

この環境年次報告をご覧いただいた多くの皆様が、豊島区の環境に関心を持たれるとともに、誰もが憩いを感じる環境都市づくりへ参画されますことを願いたします。

平成24年11月

豊島区長

高野之史